

系碕神社新報

第247号

令和8年9月10日

系碕神社

三原市系碕8-10-1

TEL 0848-68-0102

発行 系碕神社事務局

責任編集 宮司 松本 圭

お稲荷さんのお話

まだまだ暑いというものの、早いもので、令和八年も秋を迎えました。秋の語源は「飽き」とされています。穀物や木の実が実りの時期となり、魚介類も豊富に獲れるので、「飽きるほど食べられる」季節、というわけです。食糧事情が厳しかった昔の人々にとつては、この上ない喜びの季節だったことでしょう。実りの秋に因んで五穀豊穡の神様、お稲荷さんのお話を少々。

○伏見稲荷大社

日本全国で三万社はあるとされるお稲荷さんの総本宮は、言わずと知れた伏見稲荷大社（京都市伏見区）です。千本鳥居はつとに有名で、外国人観光客にも人気の高い観光スポットとなっています。



ットとなっています。伏見稲荷大社の創建は和銅四年（712）の二月最初の午の日、初午の日だったと伝わっています。「山城国風土記」の逸文に残された創建の縁起は大体以下

のとおりです。

田んぼの経営で富を築いた秦伊侶具（はたのいろぐ）という人が、餅を的にして矢を射たところ、餅は白鳥と化して飛び立ち、山の峰に降りて、そこに稲が成った。以来、山頂に社を為し、山を伊奈利山と呼ぶようになった。

補足①…山頂から山麓の現在の場所に御遷座されたのは室町時代です。

補足②…伊奈利山に代わる稲荷山という表記は、「類聚国史」という平安時代の書物に初めて登場します。

創建の年月日として伝わっているのは、伊侶具の子孫の秦氏が社の禰宜（神主）の任に就いた日です（稲荷社神主家大西（秦）氏系図）。

ご社伝によると、当時は全国的に天候が不順で不作が続いたが、稲荷大神を祀ることで五穀が稔って国が富んだ、とのこと。かくして、お稲荷さんは五穀豊穡の神様として崇敬されることとなりました。

○お稲荷さんとキツネ

お稲荷さんといえばキツネがつきものですが、キツネを神様としてお祀りしているわけではありません。キツネは稲荷の大神様の眷属（神の使い）です。お稲荷さんのご祭神は、

宇迦之御魂大神（うかのみたまのおおかみ）と仰る神様です。

キツネは、山から人里に降りてきて田畑を荒らすネズミを捕食し、収穫の後に山へ帰っていきます。フサフサとした尻尾は良く稔った稲穂を連想させ、また、黄金色に輝く体と表情には気高ささえ感じられます。

そのため、昔の人々は、田畑を守る神聖な存在と捉えていました。まさに、お稲荷さんのお使いとしてピッタリですね。そういった事情で、稲荷信仰がキツネに対する人々の思いと結びつき、キツネがお稲荷さんの眷属とされるようになりました。



お稲荷さんには油揚げをお供えしますが、元々はネズミを油で揚げたものをお供えしていたのだそうです。仏教の殺生禁断

の戒めから、代用として、豆腐を薄く切つて油で揚げたもの、いわゆる油揚げをお供えするようになった。

○お稲荷さんの御利益

初めは農業神だったお稲荷さんは、やがて、殖産興業の神さまとしても崇敬されるようになりました。江戸時代、江戸の街で商売繁盛の神様として厚く信仰されました。「伊勢屋稲荷に犬の〇」と、江戸の街でやたらに見かけるものの一つに数えられるほどに、江戸のあちこちにお稲荷さんのお祀りされました。

江戸時代、家屋が密集した都市がたびたび大火に見舞われましたが、「街は丸焼けになったがお稲荷さんだけは類焼から免れた」という事例が各地で伝えられています。このことに因んで、それらの地域では、お稲荷さんは火災除けの神様としても信仰されています。地域によっては、消防団の出初式をお稲荷さんの縁日である初午の日に行うところもあるそうです。

予定

お月見の会

九月二十五日（金）の中秋の名月の夜、当社境内にて、お月見の会を

庭草に 村雨降りて こほろぎの 鳴く声聞けば 秋づきにけり

通り雨の村雨が降ったら、コオロギの鳴き始めた聞こえた。すっかり秋めいてきたなあ。
※万葉集より。詠み人知らず。

秋風に たなびく雲の たえ間より もれいづる月の 影のさやけき

秋風にたなびく雲の切れ間から漏れ出る月光の、なんと澄み渡って明るく美しいことよ。
※古今和歌集。左京大夫顕輔。

以下の要領で開催します。気軽な催し物です。お近くの方はお寄りになってみて下さい。



・日時：九月二十五日(金)
十八時三十分～二十一時頃。来る時刻帰る時刻は各々自由。月が御山のかげから顔を出すのは 十九時十分頃と予測しています。



・音楽ライブ

〔前半〕十九時十分頃～三原和太鼓教室「空組」が演奏します。様々な催し物で演奏し、最近広島テレビの番組に出演するなど、今、勢いに乗っているグループです。

〔後半〕二十時頃～ 昨年も出演した「あの時の海風」と友人たちのギ

ターの弾き語りをお楽しみ下さい。

・入場無料。各自、お好みの飲み物、お菓子などを持参ください。音楽ライブは投げ銭形式で行います。

・曇りの場合も屋外のご社殿前で行いますが、小雨の場合は、拜殿で「雲の上の名月を思う会」を行います。荒天中止です。

糸碓神社例大祭について

十月十六日(金) 午前九時のほり 大小の幟の立ち上げ、注連縄の張り替えなどを行います。有志の皆様のご協力をお願い致します。殊に、古くからの注連縄の張り替えを行う御社殿や標柱などは、合計三千八か所、総延長約百七十メートルにも及びますので毎

年回苦戦しています。下木原、糸崎、松東以外の地区の方でも、お手空きの方がおられましたら、是非協力下さいますようお願い申し上げます。

糸碓神社例大祭

〇十月十七日(土)

午後六時～宵宮神事

午後七時～高井神楽団宵宮奉納神楽

〇十月十八日(日)

午前九時半～例大祭神事

午前十一時～イトザキ・マルシェ

※後片付けを十八日の午後四時から

行いますので、こちらの方も宜しくお願い致します。

以上 糸碓神社宮司 松本 圭

例大祭とコラボだよ！

イトザキ de マルシェ

10月18日(日) 10時～16時

入場無料

糸碓神社例大祭 イトザキ de マルシェ 会場

※専用駐車場へは裏側の入口からお入りいただけます。

糸碓神社 2026年 秋の例大祭

10月17日(土)・18日(日)

17日 宵宮神楽 糸碓神社参集殿 19:00～23:00

高井神楽団 (広島市佐伯区) 豊やの節太鼓で祝祭・奉納神事を営む。テレビでトキメクメロウリーが放送されるなど、人気・実力両面で注目を集める。来場！

18日 例大祭神事 9:30～10:30

奉納コンサート 11:00～

11:00～ 音楽&宙楽(キラ&ソラ)

12:20～ MICO&4ポンドカルテット

13:40～ Hitomi with Friends

15:00～ フジ・ベンチャーズ

※全て観覧無料。小雨決行いたします。